

## 第68回調布市民駅伝が1月28日(日)に開催。今年は283チームが参加

駅伝の魅力は各ランナーが襷をつなぎ、感動とチームの一体感が生まれることだろう。「この街をみんなで走ろう」の合言葉で第68回調布市民駅伝競争大会が、1月28日(日)に味の素スタジアム(味スタ)・アミノバイタルフィールドをスタートとフィニッシュにして都立武蔵野の森公園特設周回コースで行われる。昨年と違って今年は会場が変わった。「昨年は味スタがスタートとゴールでしたが、今年は味スタが工事中のためにアミノバイタルフィールドに変わります。周回するコースはほぼ同じ。参加は昨年より29チーム多い283チームです。市民ランナーの関心は高いですね」と公益財団法人調布市スポーツ協会の事務局スポーツ事業主任の山下淳平さんが語る。今回は一般男子(総合距離24キロ)に78チーム、一般女子(同20キロ)に18チーム、中学生男子に25チーム、中学生女子に13チーム、40歳以上に64チーム、ミックス(2区と4区が女子区間)に85チームがエントリーしている。

数年前に一般男子の部で「文化会館たづくり」のメンバーとして走った渡部和哉さんは「イベントの空気感を楽しみながら走りましたね。中学では陸上部でしたが高校・大学では他のサークル。それでも走るの好きで多摩川でランニングしています。月に100キロは走りますね」と市民ランナーらしく話す。「レスリングの吉田沙保里選手がスターターを務めたこともありますね。第64回(2019年)ではゲストとして箱根駅伝を走った拓大陸上部の選手も走りました」と前述の山下さん。今回の第68回には深大寺走友会、電通大陸上部、桐朋女子ソフト部など毎年活躍するチームもエントリーしている。今年は三鷹や府中の中学生も参加する。開会式はないが、1月の寒さを吹き飛ばすような元気な走りを見せて欲しい。(大泉 清)

## 昨年は全国から4万647人が来場。ジブリ作品は関心が高い

映画・映像会社が約40社集結する調布市では、撮影や照明など「映画の作り手」にスポットを当てた映画祭「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」を1月26日(金)から2月18日(日)まで開催する。「昨年はジブリの『耳をすませば』の上映がSNSで評判となり、全国から4万647人の来場でした」と、調布文化・コミュニティ振興財団の黒澤進さん。日本映画人気投票では総数1万5237票、1位はアニメ「すずめの戸締り」だった。

## 4年振りに第46回調布市福祉まつり開催

12月2日(土)3日(日)の両日、4年振りに市役所前庭等で調布市福祉まつりが開催されました。3日には、39参加団体、6000人(推計)の来場者を迎えて恒例の福祉バザーが盛大に行われました。このバザーは市内の団体が品物を持ち寄りより販売して、その売り上げを市内の福祉団体に寄附をする事を目的に開催されています。今年は、総売り上げが2,947,328円(社協発表)、諸経費を差し引いて約100万円が寄附される予定です。4年振りのバザーはコロナ以前と比べ、テント設営費やゴミ収集車の手配の値段が高騰したため、諸経費が膨らんだとの事。市民の善意で行っている活動なので、これらの新たな課題が解決できることを祈るばかりです。

## 【FC 東京応援記】

今期、アルベルは4-2-3-1布陣へ変更。しかし、これはトップ下の安部とボランチ松木‘ありき’の戦術だったのでは？安部はケガ離脱からヨーロッパ移籍。松木は代表活動が多く、2人が揃った試合は4試合。2人の代わりを務める選手を用意できず低迷。ではピーターへ交代後はどうか。間違いなく、チーム完成度はダウン。シーズン途中で当たり前だが。しかし一番の問題は‘ピッチ上でのメンタルが弱い’事。監督が代っても、勝ちに拘る。引分も、まして負けなど受け入らない位の強烈な勝者のメンタルをもつ選手がいな...と感じるのは私だけか。(日比生)

ちょビット

No.29



## 調布社協 インフォメーション

調布市社会福祉協議会では、65歳以上の方で頼れる親族がない場合でも安心して地域で暮らし続けられるよう、見守りや入院時に保証人に準じたサービス等を提供する「あんしん未来支援事業」を運営しています。利用にあたり親族関係の確認や資産額等の要件があります。まずはお気軽にお問い合わせください。電話:042-481-7766(ちょうふ地域福祉権利擁護センター)

# 2024年1月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

**調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送**  
**【放送時間変更】1月1日・2日・3日 17:25⇒14:25**

## テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 15日	<p>① 年始特番 調布の元気な子ども達                      明けましておめでとうございます。今回は過去に放送した番組の中から、調布の元気な子ども達の映像をピックアップしてお送りします。笑顔がいっぱい！今年も子ども達は元気に活躍することでしょう！</p> <p>② リトルギャラリー 創作紙粘土の世界『夢一輪』-長浜真知子-                      色鮮やかに広がる小さな世界:作家長浜真知子によって細部まで表現される、紙粘土で造りこまれたオリジナリティあふれる物語のワンシーンをじっくりとお楽しみください。</p>					
16日 31日	<p>① 調布がいせんウォーク 2023                      小雨がぱらつく中、小学生たちが崖線(がいせん)ウォークに挑戦しました。仙川駅前公園を出発し、急坂を登り降りしながら、崖線に残された雑木林で自然を観察しました。ゴールの深大寺自然広場(カニ山)では熱々の焼き芋が待っていました。急坂が続く崖線コースを元気に歩き切り、焼き芋を頬張る小学生たちの笑顔が見られました。</p>					



## ラジオ

**「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)**  
 調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

月	放送日	内容	ご紹介
1月	1日(放送) 8日(再放送)	ゲスト:桐朋学園大学 学長 辰巳明子さん	学園のこと、そして桐朋学園ご出身でもある辰巳さんのお話を伺っています。 インタビュアー 柴田 紀恵子
	15日(再放送) 22日(再放送) 29日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 木村迪夫さんの詩の朗読	木村迪夫詩集『わが八月十五日』から「十年」、『喪牛記』から「魔の季節」、『詩信・村の幻へ』から「東京だより」、「村へ」、の朗読をお届けします。 朗読:峯田里香子

## HP

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)  
 (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)  
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】

【アーカイブサイト】

【フェイスブック支局】



### 「カードを新しくする必要がある」 こんな電話は特殊詐欺の手口

新年になっても特殊詐欺の被害が多い。銀行員になりすまして「キャッシュカードが古くなりました。新しくする必要があります」などの電話は詐欺の手口。調布警察署(電話042-488-0110)では「カードを騙し取ったり、暗証番号を聞き出す手段です。不審な電話は警察に通報を」と注意喚起。

### 冬は住宅火災に要警戒、避難遅れで 死者の7割が高齢者だ

東京消防庁管内では、過去5年間で住宅火災で約360名が亡くなっている。死者の7割が高齢者だ。調布消防署(電話042-486-0119)では「出火原因で最も多いのが電気設備機器。コンセント、電源コード、モバイルバッテリーの周辺には特に注意。小さなこげ跡を見つけたら通報してください」と呼び掛け。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429  
 郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付  
 【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所)〒182-0035 調布市上石原 1-48-14